認知症ケア高度化推進事業

ひもときシートののののののののののでもとうとう。

社会福祉法人 浴風会 認知症介護研究・研修東京センター

(1/24)

©2010 認知症介護研究・研修東京センター

事例

85歳のみえ子さんはショートステイを利用して3日経ちました。初日から毎日決まって夕方になると、「こんなことはしてられない、ご飯の支度をしないと、旦那に叱られるから帰ります。」と玄関にやってきます。

家はすでに売られて無いことや、夫は亡くなり 居ないことなどを話し、食堂まで誘導すると、一旦 は落ち着きますが、夕食が始まるまで、数分ごとに このようなことを繰り返します。

あなたは、この事例をどのように考えますか?



©2010 認知症介護研究・研修東京センター

(3/24)



認知症の方の行動や行為そのものを

「変えよう」「止めよう」「抑えよう」

とする方法が「認知症ケア」だと考えて

いませんか?

でも、その裏には・・・・・

(変えたい・止まってほしい・やめさせたい)

という、介護者の悲鳴しか聞こえないのでは?

(5/24)

©2010 認知症介護研究・研修東京センター

評価的理解



認知症の人の行動や発言に惑わされ表面的に「好き・嫌い・苦手・得意・いい人・悪い人」 と理解してしまう。

分析的理解



「行動・言葉」の意味を本人の立場に立って「意味をつける」そのために、「なぜ?」「どうして?」と疑問を抱く。 そしてそのわけを探る。

共感的理解

分析の結果、「言葉や行動の意味」がわかり、本人の気持ちが自分の中で共感できる。「なるほど・そうだったのか・もっともだな」と…。

• 評価的理解

好き・嫌い・苦手・得意・いい人・悪い人 とその理由

「~があるから、~をしなくちゃ、忙しいから、認知症だから、コミュニケーションが取れないから」

(7/24)

©2010 認知症介護研究・研修東京センター

介護者の思い

「繰り返し家に帰れないことを説明しても」 あきらめてくれない

「現実」

適応機制

課題志向 客観性 知性と自立 暖昧さに対する耐性 感受性と共感能力

葛藤



不安。温和

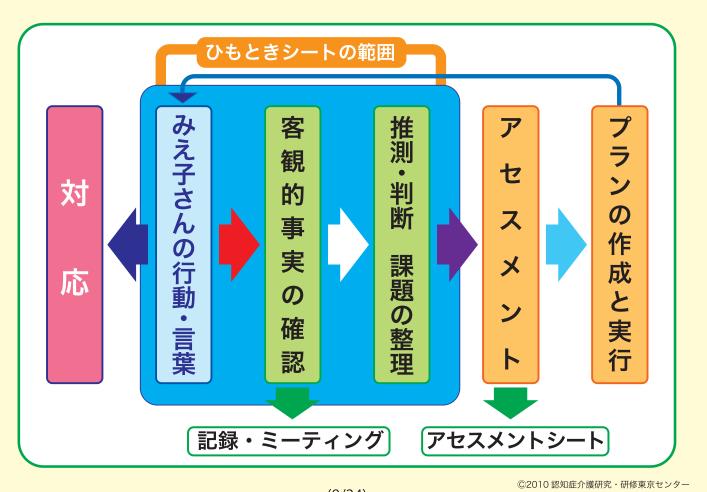
「あきらめて静かに 食堂の椅子に座って いてほしい」という

「思い」

防衛機制

合理化 抑圧

無意識化



(9/24)

••• 認知症ケアの理念•••

「パーソン・センタード・ケア」



「認知症」の人(みえ子さん)から

「認知症」の人(みえ子さん)へ



※ どこに重点・焦点・視点をおいてケアを 工夫するか、創造するか

認知症の状態を引き 起こす5つの要因

脳神経疾患

×

生活歴

X

性格・気質

×

心理社会関係

×

身体状況・感覚

環境

物理的環境

言

葉

行

動

(設え・物品など)

×

人的環境

(職員・関わりなど)

×

感覚刺激

(におい・色・音・

温度・明るさなど)

×

ルール

認知症の人が抱く 心理的ニーズ

自分らしさ

結びつき

たずさわり

くつろぎ

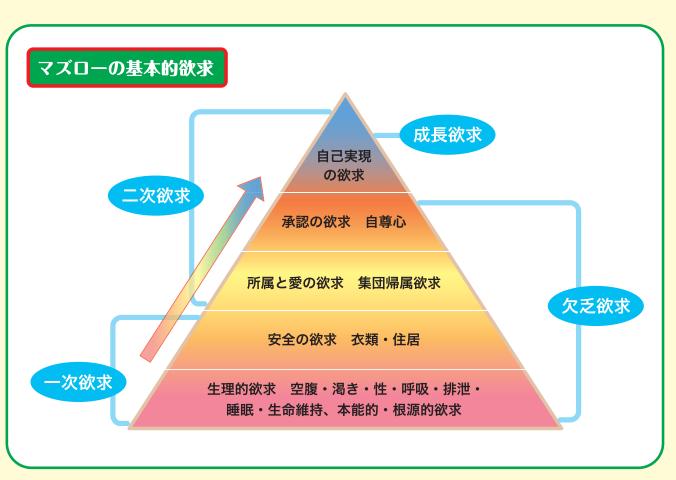
共にある



愛情

(11/24)

©2010 認知症介護研究・研修東京センター





「できない」 という 「現実」 「現実」 「できる」 という 「思い」 精極的な行動 作 個・妄 想 層 団 想・自 傷 認知症高齢者と介護者の気持ちは「合わせ鏡」の関係になっている。

快の感情







不快の感情

愛・幸せ・安心感・満足

怒り・恐怖・欲求不満・猜疑

[BPSD]

不快感 不安感 混乱状態 被害感 ストレス

認知症の人

介護者



(15/24)

©2010 認知症介護研究・研修東京センター

こんなことしていられない。 旦那が待っているから 夕飯をつくりに帰らなきゃ。

いや、待てよ。 みえうしていの ようしたいのか あの理由が のかるい。





認知症のみえ子さん

言葉や行動はヒント?

• 分析的理解

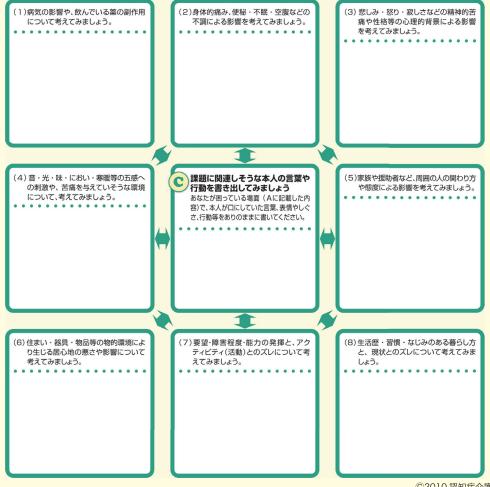
なぜだろう?何か意味があるのか?

いつもはどうだろう?

昔の仕事に通じることはあるのかな?

(17/24)

©2010 認知症介護研究・研修東京センター



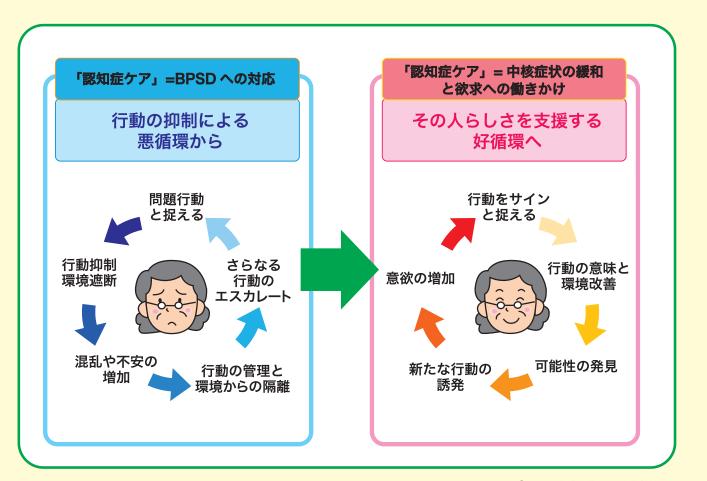
©2010 認知症介護研究・研修東京センター



• 共感的理解

共感、同情、同調、対決

違いがわかりますか・・・・?



(21/24)

©2010 認知症介護研究・研修東京センター

ひもときシートの構造

